

マーケットの動き（2026年8月3日～8月7日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

週初は日米協調による円買い介入を受けた円高進行から輸出関連株を中心に売られました。その後は中東情勢を巡る懸念の後退や米国株高を背景に投資家心理が改善し、半導体関連株を中心に買いが広がりました。週後半は一部で利益確定売りもみられたものの、好決算や業績見通しの引き上げを発表した銘柄への物色が相場を支えました。

投資環境見通し（2026年8月）

国内株式相場は底堅く推移

企業業績についてはAI関連企業を中心に、全般的に好調とみています。原油価格が再び上昇傾向で推移する中、投資家の間ではAI関連企業の競争激化に対する懸念が広がりやすい状況が続いています。しかし、企業業績はAI関連を中心に概ね好調に推移していることに加え、財政拡張のプラス効果や高水準の自社株買いも期待されることから、国内株式相場は底堅く推移するとみています。

	8月7日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	4,074.93	1.79%	0.31%	10.16%	36.38%
日経平均株価	65,606.71	1.93%	▲3.88%	20.93%	59.79%

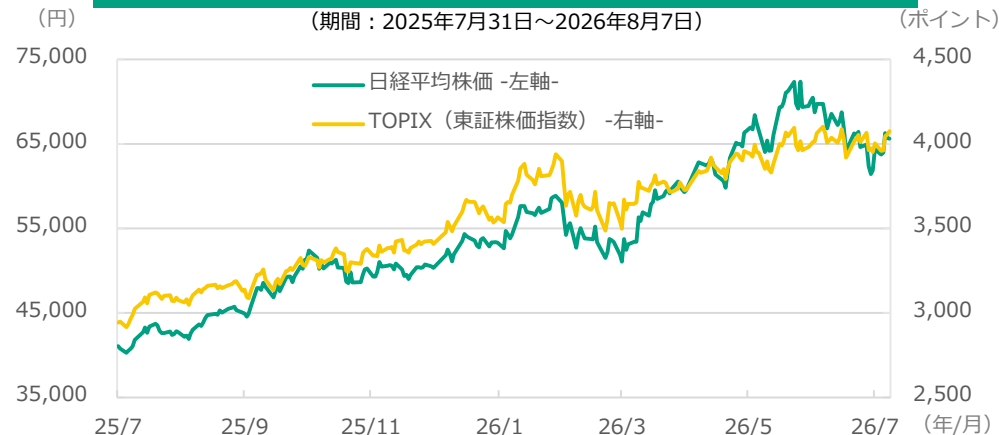
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202608_outlook.pdf

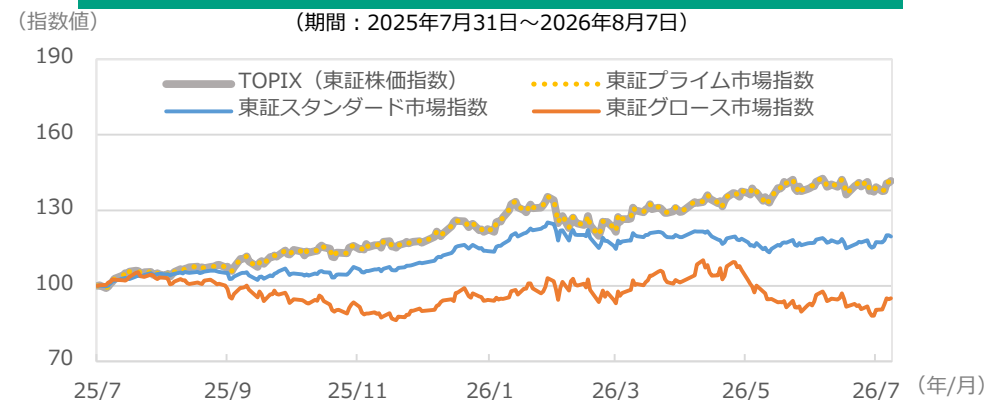
日経平均株価、TOPIXの推移

(期間：2025年7月31日～2026年8月7日)



東証市場別指数の推移

(期間：2025年7月31日～2026年8月7日)



※2025年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>